

発行日/2018.1.1

嘉麻市社協だより

えがよ

No.143

～鴨生町公民館～
お正月の飾りづくり



細かい作業を
楽しくやって
みんなで脳トレ♪♪

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

〒820-0205 嘉麻市岩崎1143番地3 稲築住民センター内

TEL 0948-42-0751

FAX 0948-83-8005



<https://www.facebook.com/kama.swc>

<http://kama.syakyo.com>

info@kama.syakyo.com



社会福祉法人
嘉麻市社会福祉協議会
会長 村上 曙生

新春を迎えて

新年、あけましておめでとうござい
ます。

みなさまにおかれましては、健やか
な新年をお迎えのこととお慶び申し上
げます。また、旧年中は、本会の活動に
多大なるご支援ご協力を賜り、心より
厚くお礼申し上げます。

さて、本会は合併以降、独自事業の開
発実施はもとより、行政からも配食
サービス、市民後見人養成事業、地域
包括ケア体制整備事業、生活困窮者自
立支援事業などを受託し、本市の福祉
施策の推進と、市民の福祉向上の一翼
を担って参りました。

また、3年前からは6つの相談セン
ターを設置し、包括的な総合相談の実
践と予防的な取り組みなどをつうじ
て、個人や世帯が抱える様々な生活課
題の解決に努めているところです。その
中で特に感じるものは、家族や親族がい
らっしゃらない方や支援を頼める状況
にない方が増えているということ、こ
れからは、単身世帯を標準にして、家族
に替わる支援や（インフォーマルサポー

ト）仕組みが必要なのではないかと思っ
ています。

国が推進する高齢者分野における地
域包括ケアシステムの構築、2015
年に施行された生活困窮者自立支援
法、2020年代初頭を目標してす
められている我が事・丸ごと地域共生
社会の実現なども、すべて地域を基盤
とした取り組み（地域づくり）が重視
されています。言い換えるならば、地域
福祉の推進を掲げて活動する本会（社
会福祉協議会）への期待があると同時
に、存在意義が問われかねない状況に
あるということです。

地域づくりのキーワードは「つなが
る」だと思います。地域住民、当事者組
織・団体、関係機関、社会福祉法人、ボ
ランティア、NPOなどが生活圏域の
中でつながり、地域の課題や生活課題
を発見し、解決手段を共に考え実践す
るという、ボトムアップによる組み
を広げていくことが、今こそ求められ
ていると思っています。

このような認識のもとに、本会は、今
年も市民のみなさまをはじめ、行政等
からの負託に応えるべく、役職員が一丸
となつて努力して参る所存ですので、な
お一層のご支援ご協力を賜りますよ
う、お願い申し上げます。

最後になりますが、みなさまのご多
幸とご健勝をお祈りし、新年のご挨拶
とさせていただきます。



本会では、日々の活動を紹介したり、いろいろな福祉情報を素早くお届けしたい
という思いから、ホームページで、日記『嘉麻市社協のブログ』を書いています。
そこから抜粋してきた記事をご紹介します。

<http://kamasyakyo.sakura.ne.jp/wp/> (ブログのアドレスが変わりました)

みんなで学ぼう助け合い

2017年11月18日(土)

軽費老人ホーム稲穂園では、毎年この時期に秋祭りを開催していました。今年は地域の方々の生活
に役立つイベントにしたいと考え、11月18日に「みんなで学ぼう 助け合い」と題した講演会が開催
されました。

まず初めに、川元施設長から「認知症と介護保険の仕組み」について話がありました。30名ほどの
市民の方が老化と認知症の違いや介護保険を利用するまでの手順等についての説明に、熱心に耳を
傾けていらっしゃいました。

その後、会場の一角に設けられた福祉用具展示コーナーに
多くの方が立ち寄り、様々な福祉用具を手にとって、担当者
の方に質問されていました。また、喫茶コーナーに用意された
お茶やケーキなどを食べながら、施設の方と談笑し、穏やか
な時間を過ごしていました。なかには、身内や知人の介護相
談などを行っているようすも見られ、協議体のメンバーも多数
参加されていました。



2017.11.18

嘉麻い隊うすい(碓井地区)

碓井地区では、困ったときに相談できる、困った人に気づくことができる、そんなアンテナ役になってくださる方が地域に増えたらいいなと考えています。顔の見える関係づくりをどのように広げていったらいいのかを話し合う中で、「空き家が増えた」、「子どもの声を聞くことが少なくなった」など、昔に比べると地域が少し寂しくなったとの意見が出ました。

空き家を利用し自由に集まれるカフェや地域の人に参加できるイベントなど、つどいの場を生かした地域づくりを目指し、自分たちでできることを話し合っています。そのためには企業や商店、地域の方々の力が必要だと感じています。興味のある方がいらっしゃいましたら、ぜひ協議体にご参加ください。



今後の協議体について

- 1月12日(金) 10:00～ 西郷公民館
- 2月9日(金) 13:30～ 碓井公民館
- 3月9日(金) 13:30～ 人権啓発センター
あかつき

協議体は、どなたでも参加できます。みなさんの声を地域づくりに生かしませんか？

また、協議体の開催時間に合わせて、出張相談窓口を開設しています。介護のことに限らず何でもご相談ください。

午後からは、月2回開催している音楽の時間で、講師を務める山戸理恵子さんの演奏を聞きました。曲に合わせて楽器をならす子や口ずさむ子など、それぞれに楽しく過ごしました。また、リクエストに合わせてピアノの伴奏が始まり、子ども達がマイクを回して、歌を披露してくれました。緊張しながらもかわいらしい歌声が続き、歌い終

12月2日(土)、嘉麻北日中一時支援事業所で、クリスマス会を開催しました。
午前は、みんなの大好きなドラえもん映画を上映し、昼食は、ナゲットやウインナーなど、自分の好きなトッピングをのせたハヤシライスを食べました。



わった後には、笑顔でハグする姿が見られました。
子どもたちは、サンタクロースやトナカイからプレゼントを受け取り、みんなにとって、思い出に残るクリスマス会になりました。

嘉麻北日中一時支援事業所 クリスマス会

サンタとトナカイがやってきました。

本会のひきこもり相談支援センターでは、「ひきこもることを応援する」という思いのもと、社会に出る準備ができていないのに無理に出る必要はないと考えています。家族支援より当事者支援を中心に、当事者の気持ちに寄り添いたいと思っています。一人で不安な気持ちを抱え込まず、一緒に考えさせてもらえませんか。

先月号に続き、不登校に関する現場などで活動されている宇部フロンティア大学・大学院 教授の西村秀明さんに寄稿いただきました。

昔、私の家からそう遠くないところに一軒のラーメン屋がありました。その大将は「九州男児」を自認する、めっぽう短気な性格のようでした。店が忙しいときなど出前の電話がかかって来ようものなら、サッと受話器をとって、「いま忙しい！」と一喝、ガチャツ！と電話を切るというようなことも平気でやってのけていました。

そういうやりとりが知られるにつれ客足が遠のいてしまうのですが、私はどういかわけかその大将と気が合つて、ラーメン一杯でよく話し込んだりしたものでした。そうすると、気が荒く見えても根はとて優しい気持ちの持ち主であることも知りました。

もうひとり、ある九州男児の話。彼の息子さんは不登校で外部との接触を断ち、家族ともシャットアウトして自分の部屋の出入り口はバリケードを張って入室を拒否していました。こうして膠着状態が続くなか、そのお父さんは遂に業を煮やし、バリケードを打ち壊して中に入るや、息子さんを前にして「いったい誰のお陰で三度の飯が食えていると思ってるのか！誰のお陰でその服が着られていると思ってるのか！いい加減にしろ！その服をとれ！」と罵倒しました。そうすると息子さんは黙って服を脱ぎ、パンツひとつになりました。お父さんはそれ

でも気が済まず、「そのパンツもとれ！」と命ずると、息子さんはパンツもとって素裸になったそうです。そうすると、今度は黙って従っていた息子さんからひと言、

「親父……もう、ついでに僕の命もとってくれ……。」と。そのとき瞬時に、お父さんは「まちがっていた!!」と悟られ、「もう、息子をただ抱きしめるしかありませんでした」と語られました。息子さんの苦しいこころ模様を一瞬にしてすべて読みとられたに違いありません。

人間の性格には様々な側面が宿っています。いま、この場では、その側面の何を必要としているのか、状況を読み解いていくまなざしがとても大切になってくるものだということを教えてくれていきます。そのお父さんは、その後、とても真剣に不登校の子どものための支援活動に取り組まれておられます。九州男児のこころ意気を感じさせてくれる素敵な親父さんです。



にしむら ひであき
西村 秀明さん

山口中央児童相談所、山口県宇部健康福祉センター、山口県精神保健福祉センターにおいて、子どもの不適応問題から精神障がい者の地域援助、認知症の心理リハビリなど、多方面の支援に尽力。「ひきこもり家族の会」を主催、NPO法人Nest理事・アドバイザー、山口県犯罪被害者・加害者調停センターの調停人等を務め、2003年からは宇部フロンティア大学及び大学院教授として長年に渡り、不登校・ひきこもりに関する現場で活動している。著書に、「ひきこもり その心理と援助 単行本」（出版社：教育史料出版会）、「子どもの心理 親の心理—子育てはこころ育て」（出版社：教育史料出版会）がある。

地域のホットニュース



嘉穂劇場で開催された筑豊地区大会のようす

演劇を通して伝えたいこと

平成29年度福岡県高等学校総合文化祭演劇部門筑豊地区大会にて、稲築志耕館高校演劇部が優秀賞を受賞しました。3年生が引退し、現在11名で活動されています。

受賞作品の「私×私たち」 emotions」の練習を見学しました。様々な事情から苦しい状況に追い込まれ、生きることを見失った主人公の心の葛藤を擬人化した作品です。

部員全員で作ったオリジナルの脚本で、「生きて」という思いが伝わ

る内容になっています。一人の主人公を「怒り」「逃避・嘘」「優しさ」「無感情」「感情の管理者」に分けて5人で演じ、人間はたくさん感情をコントロールし自分を守って生きていくことを表現しています。嫌いなところや好きなところの全て含めて受け止めて、「ありのままの自分で大丈夫なんだと思ってもらいたい」との願いが込められています。

また、対立した関係に見えても、それぞれ方法が違うだけで、主人公を守りたいという願いは同じであることが描かれています。お互いの思いを理解し合う難しさと大切さについて考えさせられました。

部員の一人は、「もし主人公のような辛い思いをしている人がいるとしたら、一人で抱え込まないで、自分のことを諦めないでほしい」と話されました。

取材を通して、日常の中で感じる、言葉に現すことの難しい思いが、スツと心に届いてきました。演劇は、見る人の感性で解釈するからこそ、素直に思いを受けとることができると感じました。

今後も、地域の方と一緒に、演劇部の活動を応援したいと思います。

社協だよりクイズ

「広報紙えがお」を読んで、次のクイズにお答えください。正解者の中から抽選で2名の方に、図書券(千円分)をプレゼントします。

問題

協議体嘉麻い隊うすいでは、困った人に気付くことができる、何役が地域に増えたらいいかと考えているでしょうか。

- (1) ジャッジ役
- (2) アンテナ役
- (3) 子役

応募方法

- ①クイズの答え、②広報紙の感想、③郵便番号・住所、④氏名、⑤年齢、⑥電話番号をご記入の上、1月31日(必着)までにハガキ、またはEメールにてご応募ください。

送付先 〒820-0205

嘉麻市岩崎1-4-3番地3

嘉麻市社会福祉協議会

E-mail: riki@kama.syakyo.com

前号のクイズの答え

- (3) 約20kg
- 一夜城まつりで、本会に寄せられたリングプルは約20kgありました。

●応募のあった方から社協だよりの感想をいただきましたので、紹介します。

編集後記のスタッフのイラストで顔を想像しながら読んでいます。今月の二冊も楽しみます。

色々な事が書いてあり、読むのが楽しくなります。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。



Q

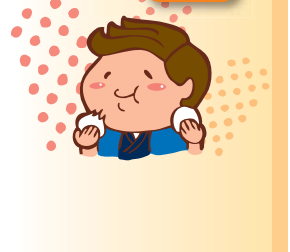
成年後見制度を利用すると、戸籍に載ってしまいますか？

A

以前の「禁治産」「準禁治産」の制度では、その旨が戸籍に載っていましたが、平成12年4月から施行された新しい成年後見制度では、戸籍への記載が廃止されました。その代わりに、本人や成年後見人など限られた方からの請求があれば、後見・保佐・補助の権限や任意後見契約の内容が記載された「登記事項証明書」が発行されるようになりました。



社会福祉法人嘉穂の里 もちつき交流会



12月9日(土)、社会福祉法人嘉穂の里 さくら学園にて、もちつき交流会が行われました。本会のかまボランティア・市民活動センターに登録している個人ボランティアさんやともしび会の方々19名が参加しました。

もちつきは、入所者や地域の方が杵を持ち替えながら行いました。初めは、慣れない作業にタイミングがなかなか合いませんでしたが、相手に合わせて声をかけ合うことで、徐々にペースも上がり、会場からはたくさん声援が起りました。また、職員が行った目隠しもちつきでは、スピード感のある息の合った様子に、アンコールの声がかかるほど盛り上がりました。その後、「親指で形を整えながら丸めていくといいよ」と、コツを教えてもらいながら、あんこや

きなこ、大根おろしもちをつくりました。

参加したボランティアさんからは、「地域の方との楽しい交流の場になっており、また参加したいです」や「けがもなく、無事に終えることができ、お手伝いできてよかったです」との感想をもらいました。



ボランティア募集情報

駅伝ボランティアの募集

県内の子どもたちが学年や勝ち負けに関係なく楽しく走る、ふくおか子ども駅伝in嘉麻が開催されます。

この大会で、運営を手伝ってくださるボランティアスタッフを募集しています。



日時 平成30年2月18日(日)
8時~15時

集合場所 山田生涯学習館(嘉麻市上山田1347-10)

活動内容 テントの設置、コース運営など

募集締切 平成30年1月19日(金)

備考 屋外の活動のため、防寒対策をお願いします。

デイサービスでの話し相手

NPO法人良創夢 嘉麻良創夢デイサービスセンターでは、話し相手やレクリエーションのお手伝いをしていただける方を募集しています。



日時 随時(月~土曜日)
※詳しい時間帯については、調整いたしますのでご相談ください。

場所 嘉麻市良創夢デイサービスセンター
(住所:嘉麻市飯田511-1)

内容 話し相手、レクリエーションのお手伝い

備考 動きやすい服装でご参加ください。

お問い合わせ / かまボランティア・市民活動センター 0948-42-0751



ストレスと疲れがみるみる消える！

1分間どこでも

マインドフルネス

著者 奥田 弘美さん

発行所 日本能率協会

マネジメントセンター



マインドフルネスは、グローバル社やアップル社などの欧米有名企業が、能力向上のトレーニングとして職員研修に取り入れたことで有名になりました。

情報社会の中で、私たちは情報を選り判断したり、人とコミュニケーションをとった

り、次にやるべき仕事や活動の事を考えたりと、脳は休む間もなく思考しています。その思考に応じて同時に感情も変動し、知らないうちにストレスを蓄積しています。

意図的に何も考えない時間を作り出すことで、脳の緊張をとり除き休息させ、疲れやストレスを和らげる方法がマインドフルネスです。一般的に瞑想やヨガの手法を使います。

例えば、鼻先を意識し、息の流れを感じながらの呼吸法をほんの1分程度するだけで、頭が少しすつきりします。だんだんと今この瞬間に集中して、大切に過ごすことができるようになるそうです。

日々の様々なストレスを和らげる方法の一つとして、マインドフルネスを取り入れてみてはいかがでしょうか。

(かじ)

炭 鉱 の 記 憶



漆生坑口で撮影

鴨生にお住まいの方から、炭鉱住宅での暮らしについて話を伺いました。Aさんのご主人は、三井山野鉱業所漆生炭鉱で炭車の切り離しの仕事をされていました。1番方、2番方、3番方といわれる3交代制で、24時間続けて勤務することもありました。

終戦後は、仕事を求め全国から人が集まり、住宅が不足していたことから、義姉家族と長屋で同居しました。1部屋を分け合い、約4.5畳のスペースで新婚生活を過ごしました。水道はおよそ6軒の

住人が共同で使い、外まで水を汲みに行くのが大変だったそうです。

食べるものも少なく、配給される米だけでは足りず、家の前の小さな庭でかぼちゃを栽培したり、シジミ貝や山芋を採り生活したそうです。また、大隈まできつまいもを買いに行っても、売り切れていることが多く、毎日苦勞したと話されました。

「こんな時代があったなんて、今では想像がつかないでしょう」と、笑顔で当時の生活を振り返られていました。たくさんの苦勞があったにもかかわらず、笑いを交えながら話される様子から、炭鉱で働く夫を温かく支える妻たちの姿を想像しました。



漆生葉月の長屋での様子

最近笑顔になった出来事を教えてください



せき や ゆう た
関谷 結太 くん (3歳)

動物園では「あ、ぞう」「あ、きりん」、水族館では「あ、ペンギン、さかなー」と駆け回り、車内では「あ、でんしゃー」となんにでも好奇心旺盛です(^ω^)

保育園の帰り道には、「暗いき、あるかな～」とニコニコしながらイルミネーションを探しています♪

2月の総合相談

法律相談

と き: 2月1日(木) 13:00~16:00

ところ: 山田ふれあいハウス

と き: 2月15日(木) 13:00~16:00

ところ: 稲築住民センター

※法律相談は予約が必要です。先着順となっておりますので、お早目にお申し込みください。

心配ごと相談

と き: 2月14日(水) 13:00~15:00

と き: 2月28日(水) 13:00~15:00

※心配ごと相談の会場はいずれも稲築住民センターです。

山田ふれあいハウスからのお知らせ

会議室の紹介

山田ふれあいハウスは、最大30名が利用できる会議室や誰でも気軽に利用できるホールを備えています。趣味のサークルや活動の場として、ぜひご利用ください。

なお、会議室の使用は事前の申し込みが必要となります。

〈会議室使用料金〉

1時間あたり 250円

〈冷暖房使用料金〉

1時間あたり 450円

申し込み・問い合わせ先/
山田ふれあいハウス
嘉麻市上山田502番地6
☎0948-52-1847



指定葬祭場紹介

セレモニーホール おおつか



嘉麻市下山田9-1
☎(0948) 52-1212

それぞれの悲しみを優しさに、故人との別れにふさわしい大切な人との永久的にお別れに、悲しみをやすらぎへの旅立ちに、と、スタッフ一同、丸となつてお手伝いさせていただきます。

嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、セレモニーホールおおつかを含め、市内に8ヶ所あります。

かほ葬祭 あじさい会館…………… ☎62-5566
善光会館 稲築会場…………… ☎83-5000
おかむら葬祭岡村会館…………… ☎42-4420
飛鳥会館 南斎場…………… ☎42-4241

きど葬祭やまさ碓井斎場…………… ☎62-4499
ひさつね会館…………… ☎52-0758
いすや会館…………… ☎57-4444

みなさまの善意、心より厚く、
お礼申し上げます。

香典返し・寄附

11月1日～11月30日受付分

◆香典返し

〔漆生中央〕

親族 笹田孝子様
故 中野カナメ様

〔熊ヶ畑第一〕

親族 金崎寛治様
故 金崎ミヤ子様

〔尾浦第二〕

親族 石川弘子様
故 石川嘉重様

〔木城〕

親族 佐々木修様
故 佐々木康男様

親族 山田富美子様
故 山田勇様

〔昭和〕

親族 山口有紀様
故 和田美恵子様

〔中山田下〕

親族 府川文子様
故 府川豊子様

〔小野谷〕

親族 江藤清剛様
故 江藤幸子様

〔新原〕

親族 酒井照正様
故 酒井典子様

〔上西郷〕

親族 大谷エミ子様
故 大谷清人様

〔上牛隈〕

親族 林博幸様
故 林佑磨様

〔千手〕

親族 清水ヤエ子様
故 清水久様

〔椎木〕

親族 田中和夫様
故 田中マツミ様

〔平山〕

親族 茅嶋利夫様
故 茅嶋ナミ子様

〔飯田〕

親族 山田辰巳様
故 山田ミサ子様

〔下臼井西〕

親族 田中正晴様
故 田中ヒフミ様

◆一般寄附

〔市内〕

木目込み教室むつみ会様

〔市外〕

嘉穂の名水愛好者一同様

◆物品寄附

〔車椅子〕

パナソニック松友会様

〔切手〕

鴨生北町 匿名様

〔子育てリユース〕

漆生 坂本真一様
山野第二 横山貴代美様
西郷 大田実加様
桂川町 新地葉瑠香様

〔アルミ缶〕

漆生中央 田中茶舗様
漆生中央 浄照寺様
漆生南部 西田幸子様
漆生南部 岩田勇治様
漆生東 匿名様
平山 匿名様
百々谷 吉元悦子様
下宮 ライフハウスおおか様
中央 佐藤康隆様
石ヶ崎シニアクラブ楠様
石ヶ崎シニアクラブ渡辺様

〔リングプル〕

漆生中央 浄照寺様
西岩崎 匿名様
山野第二 古賀絹江様
山野第二 三木千代子様
西郷 原中貞子様

下宮 三好邦央様

木城 樋口えり子様

石ヶ崎 國武美千代様

市内 山下京子様

中益いきいきサロン様

石ヶ崎シニアクラブ渡辺様

(有)小西モーターズ様

〔古切手〕

漆生中央 浄照寺様
鴨生北町 匿名様
三菱第二 北島キミエ様
飯塚市 古賀ヒサ子様
株式会社 トモス様
教育ナビゲーション(株)様
清浄学園様
石ヶ崎シニアクラブ渡辺様

〔アルミ〕

古河 塚原京子様

義援金をお寄せいただき、
ありがとうございます

福岡県大雨災害により被害を受けられた方々を支援するため、義援金をお寄せいただいております。誠にありがとうございます。

11月1日～11月30日受付分

有限会社

田村環境開発工業 様

あなたの会費が、社協の
地域活動を支えています

会員として、次の方々に

ご加入いただきました。
(敬称を省略させていただきます。)
(順不同で掲載しています。)

11月1日～11月30日受付分

〔鴨生町〕棚田幸子

〔辻中籠〕古賀麻里

〔漆生東〕高倉由美子

〔下宮〕坂本智恵子、小野京子、加来京子、大塚秀樹、本岡サナエ、都築光一、古賀聖一、重松嘉隆、重松鈴子、廣谷マリ子、篠原孝一、森茂、井上正一、平野千恵子、井上学、今村きよ子、椿耕治、内橋伸彰、松岡伸彦、大上啓子、仲道正行、石松初美、椿甫、佐野敦、仲道庸正、山藤やす子

〔長野〕梶嶋周介

〔中山田上〕芝修一

〔日吉〕森本月夫、松向カツエ、松岡フジエ、藤田真吾、田中和昭、飯田恒喜、定政一、久恒清、木村豊次、浅野須恵美、青木正親

〔上牛隈〕中島伸行、中島由美

〔下牛隈〕大塚香代子、大里厚子

ふるさとへの
手紙
No.143



東京都豊島区在住
はやた まさし
早田 将志さん
稲築町銭代坊出身



風の匂い

私は旧稲築町で生まれ育ち、稲築高校卒業後進学のため1981年に故郷を離れました。コンピューター会社に就職後は、お決まりの転勤族で西日本を転々とした後に、東京に落ち着きました。住みやすかったのは長崎と静岡で、特に毎朝富士山を眺める静岡での生活は心地よかったです。

故郷で思い出すのは、当時近所に共同浴場があり、自宅にお風呂があつてもタオルを首に巻き、同級生と仮面ライダー気分で行ったことです。1番風呂と2番風呂があり、体をきれいに洗って2番風呂に入る掬でした。子どもにとつての共同浴場

は「巨大プール」の何者でもなく、最後は定番「プール鬼ごっこ」に変わるのには目に見えていて、「きさんたち！なんぼしょつとか！」と、怒られたことを今でも鮮明に覚えてます。現在は「なつきの湯」があるので懐かしく思います。

母が健在なので、たまに故郷に帰ると、何かが違うと感じることがあります。昔より狭く感じる自宅前の道や思いのほか低く感じる自宅の塀、町並みの景色。なにより東京とは、気候のせいだけじゃなく風の匂いが違うのです。でも、夕方の風の匂いは当時と変わらず、遠賀川の土手を自転車で飯塚まで風きって走っていた頃を思い出します。

現在、稲築志耕館高校の同窓会東京支部をお手伝いしていますが、故郷からの出席者とお話すると、今も変わらない言葉が飛び交い、近況を聞きたび密かにストーリーレビューで「故郷妄想の旅」をしながら、明日への英気を養っています。

「さて第三の人生はどうするかな？」と考えながら・・・

編集後記



(おがわ)

「ふるさとへの手紙」では、子どもの頃に感じていた風景が、大人になると思いのほか小さく感じたり、怒られた思い出も懐かしく、くすりと笑えるエピソードが寄せられました。



(ふじい)

日中一時支援事業所のクリスマス会は、会場の飾りつけなど、スタッフと協力して準備をしました。当日、子どもたちの笑顔を見ることができ、とても嬉しい気持ちになりました。



(なかの)

p4では、西村秀明さんから寄稿してもらいました。今号で最後の掲載となります。読むたびに、自分の価値観を人に押し付けていないだろうかと考えるきっかけになっています。



(いとう)

鴨生町公民館に週1回集まって作品づくりをしているみなさんに表紙を飾ってもらいました。編み物やちりめん細工など、お互いに教えあいながら、楽しく活動されています。



(やひろ)

炭鉱の記憶の取材では、戦後間もない頃の暮らしについて話を伺いました。炭鉱で働く人やそれを支える人の苦労があったからこそ、今の生活があることに改めて気付かされました。



(まつだ)

ブログには、社会福祉協議会の活動や日々のできごとを書いています。ホームページやフェイスブックから見るができます。身近な情報をお伝えしていきますので、ぜひご覧ください。



(さわだ)

嘉麻市社会福祉協議会は、今後も市民のみなさまと共に地域福祉を推進してまいります。社協会員に加入いただき、福祉のまちづくりにご参加ください。

市民のみなさんと共に
福祉のまちづくりを

～平成29年度の社協会員を募集しています～

福祉のまちづくりを推進していくため、嘉麻市社会福祉協議会は会員を募集しています。市民の皆様からいただいた会費は、本会の地域福祉活動や、新たな福祉課題に対応するための事業の財源として活用します。会員は、年間を通じて募集していますので、ぜひご加入いただき、福祉のまちづくりにご協力くださいますようお願い申し上げます。

会員の種別は— 個人会員 10 1,000円
法人・団体 10 1,000円

入会の方法は—

- ①社協窓口にお越しいただける方・・・窓口で入会申込書をご記入いただき、今年度分の会費をお支払いいただきます。
- ②集金をご希望される方・・・社協までご連絡をお願いします。地区によって集金方法が異なりますので、ご案内いたします。
- ③市外の方・・・氏名、住所、連絡先を記入の上、現金書留もしくは郵便子為替で本会まで郵送ください。

〈お問い合わせ先〉

嘉麻市社会福祉協議会 ☎0948-42-0751